

平成 28 年度

佐賀県高度情報化推進協議会

第3回幹事会本資料



日時:平成29年1月31日(火) 午後2時00分～
場所:佐賀県自治会館4階 大会議室

本日の次第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 題
 - (1) 今年度下半期事業報告について **【報告事項】**
 - (2) 次期中期推進項目及び来年度事業の方向性について **【協議事項】**
 - (3) 来年度第1回ICT利活用講演会テーマ選定について **【決議事項】**
- 4 その他
 - (1) 次期幹事・各G構成員公募について
 - (2) 第4回幹事会開催日程について

会議の目的

1 **[報告事項]**

下半期事業について、実施済事業の概要及び未実施分の途中経過について確認していただく。

2 **[協議事項]**

次期中期推進項目及び来年度の事業の方向性について協議いただく。

3 **[決議事項]**

来年度第1回ICT利活用講演会のテーマを決定いただく

議題(1)

今年度下半期
事業報告について
【報告事項】

議題(1) 【報告】今年度下半期事業報告

本日の報告事項

【実施済み】

- 第2回ICT利活用講演会(11/24)
- はじめてのスマホ・タブレット講座in鹿島(9/17)
- 高情協Twitterの運用開始(10/24~)

【経過報告】

- ICT利活用取組事例視察(2月1日実施予定)
- 情報リテラシー・セキュリティ事業
- 1) ネットの安全・安心けいはつコンクール (モラージュ)
(募集~1/13 1/18審査 2/18表彰式 展示・相談)
- 2) サイバーセキュリティ対策シンポジウム
(2/14開催予定、後援予定)
- 買物困難者支援実証事業・ICT利活用促進調査研究

議題(1) 【報告:実施済】今年度下半期事業報告

第2回ICT利活用講演会(11/24)

熊本地震を受けて、県民全体の関心が高い「**防災×ICT**」をテーマに開催
出席総数142名(会員84名。一般参加:58名(**介護施設や障害者施設、学校関係者等**))



(株)ローカルメディア
アラボ牛島氏



ヤフー(株)田中氏

期日: 平成28年11月24日(木)
13:30~16:30
場所: ホテルマリターレ創世佐賀
出席者数: **142名**
(会員84名・一般58名)

お二人の先生に、基調講演及び対談において、**災害時における情報発信の現状・課題**について講演いただきました。併せて、ソフトバンク(株)、(株)ケーブルワン、県消防防災課より、**各々災害時における情報発信の取組**について紹介いただきました。

議題(1) 【報告:実施済】今年度下半期事業報告

【アンケート結果、感想等】

回答者の67%から高い評価(評価5または4)
講演を聴いて、回答者の63%が「防災関連アプリ」を
インストールしたいと回答

「さまざまな防災関連のICTサービスを県民に知ってもらう」という本講演会の目的に合致

受講者が興味をもっているテーマ上位5項目

オープンデータ	35名	前回(9名)から大幅増!
IoT	34名	前回(29名)に引き続き高い数値
AI(人工知能)	32名	
ビッグデータ	30名	前回(15名)から大幅増!
情報セキュリティ(企業・団体向け)	29名	

[アンケート回答数]
100名(今回)←82名(前回)

その他大幅に増加した項目

◇人材育成	21名	前回(10名)から大幅増!
◇ソーシャルメディア	20名	前回(7名)から大幅増!

議題(1) 【報告:実施済】今年度下半期事業報告

【同一科目内の事業間の振替えについて】

科目「幹事会直轄事業費」中、「(1)ICTに関する講演会」にかかる支出額が、予算額を超えることとなったため、同一科目中の「(2)ICT普及啓発事業」から振り替えて支出

単位:円(1月1日現在)

科目		予算額	支出済		残額
幹事会 直轄 事業費		4,400,000	2,075,700		2,324,300
	(1)ICTに関する 講演会等	(900,000)	(1,175,790)		(275,790)
			【第1回講演会】 (418,034)	【第2回講演会】 (757,756)	
(2)ICT普及啓発 事業	(3,500,000)	(899,910)		(2,600,090)	

なお、同一科目内における内訳の変更であることから、会計規程上の予算の「流用」にはあたりません

(予算の流用)

第9条 会長は、予算の執行上必要があると認めるとき又はやむを得ない理由があるときには、幹事会に諮った上で、科目相互間において予算を流用することができる。ただし、各配分額のいずれか低い額の20パーセントを上限とする。

<今回経費が増大した理由>

- ◇ 講演会の構成上メイン講師 **2名招聘**
- ◇ 県民に広く聴講してほしい内容であるため **広報費用強化**(新聞広告)

議題(1) 【報告:実施済】今年度下半期事業報告

はじめてのスマホ・タブレット講座in鹿島(9/17)

参加者数 97名

前回(7月小城市)よりも、さらに情報セキュリティ啓発について強化

iPhoneセミナー



講師: SIA 佐賀

iPad活用講座



講師: 中村純一氏

安全につかうためのLINE講座



講師: エヌビィ-コム

Facebook講座 for iPad



講師: シニアネット佐賀

講習中の参加者



会場(鹿島市民交流プラザ「かたらい」)



議題(1) 【報告:実施済】今年度下半期事業報告

前回よりもさらに「情報セキュリティ啓発」を強化!

[前回(7月小城市開催)における啓発取組]

- ◇各講座において「安心・安全な取扱い方」を組み込み
- ◇佐賀県警本部作成の『CyberNews』の配布
- ◇ITサポートさが作成の『ほっとネットライン案内カード』の配布



【今回の新たな啓発取組】

上記に加え、以下の3つを実施。中でも啓発動画については、特に熱心に視聴する姿

◇IPA作成啓発動画『ワンクリック詐欺に気をつけて！

(約10分)』を講習の最後10分間を利用して、

全参加者に視聴

◇県消費生活センター作成チラシ『ワンクリック請求に気をつけて!』の配布

◇NISC作成『マンガで学ぶサイバーセキュリティ』の配布



議題(1) 【報告:実施済】今年度下半期事業報告

【アンケート結果、感想等】

すべての受講者から

「大変良かった(45%)」「良かった(55%)」と高い評価を得た

ほとんどの受講者(98%)から、

「受講前と比べてICTに関して理解が深まった」との回答を得た。

小城市に引き続き、スマートフォンへの関心が高さが伺えた(下表参照)

開催市町(開催年月)	スマートフォン講座への 申込希望者の数(定員超過)	今後スマートフォン講座を 受講希望の方の割合
H27.7月(みやき町)	42名(+2名)	25%(23名)
H27.10月(武雄市)	33名(-7名)	33%(29名)
H28.3月(唐津市)	41名(+1名)	26%(29名)
H28.7月(小城市)	91名(+11名)	42%(64名)
H28.9月(鹿島市)	43名(+3名)	43%(39名)

議題(1) 【報告:実施済】今年度下半期事業報告

高情協 Twitter の運用開始(10/24~)

HP、FB、YouTubeに加え、Twitter運用を開始

ホームページ

事業開催案内・報告
会員専用ページ更新等



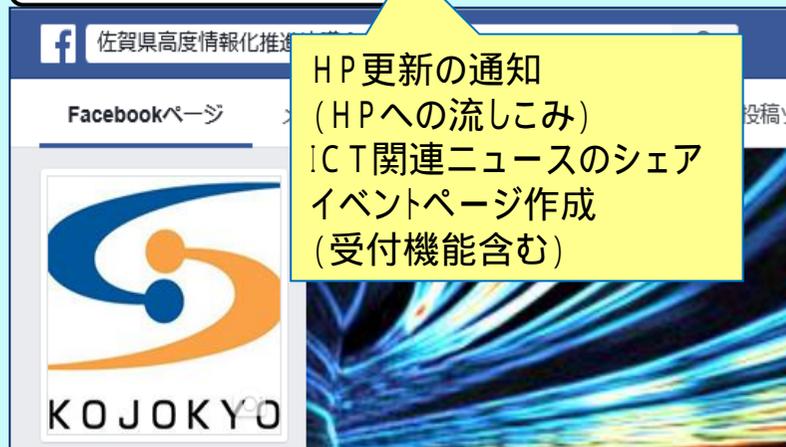
YouTubeチャンネル

事業の開催
風景動画
会員提供動画等
のアップ



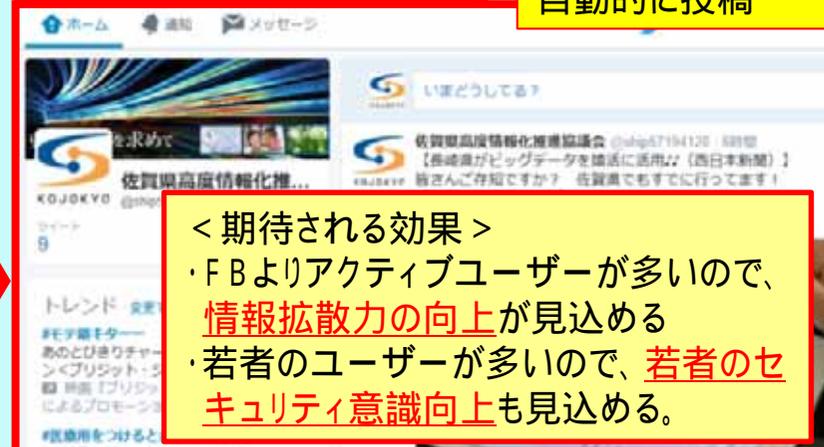
Facebookページ

HP更新の通知
(HPへの流しこみ)
ICT関連ニュースのシェア
イベントページ作成
(受付機能含む)



【新規運用】Twitter

FBページの投稿を
自動的に投稿



<期待される効果>
・FBよりアクティブユーザーが多いので、
情報拡散力の向上が見込める
・若者のユーザーが多いので、**若者のセ
キュリティ意識向上**も見込める。

リンク

リンク

リンク

連動
投稿

議題(1) 【報告:実施済】今年度下半期事業報告

高情協Facebookページの運用(4月~12月)について

投稿本数 総計130本 (内訳:高情協関係記事39本 ICT関連記事シェア91本)

(4月~7月)総計38本(内訳:高情協関係記事15本、ICT関連記事シェア23本)

(8月~12月)総計92本(内訳:高情協関係記事24本、ICT関連記事シェア68本)

【『いいね!』の数】

今年度9か月間で+59いいね!

4月1日(209いいね!) 8月1日(244いいね!) 1月1日(268いいね!)

イベントにおける呼び掛けにて増加!

9月17日講習会 +5いいね! 11月24日講演会 +8いいね!

幹事様へ改めてお願いします!

- ◇高情協ホームページの「お気に入り登録」
- ◇高情協Facebookページへの「いいね!」
- ◇高情協Twitterの「フォロー」
- ◇高情協YouTubeの「チャンネル登録」

<高情協YouTubeチャンネル>
38動画を掲載中(1月1日現在)
11/24「防災×ICT」講演会
動画もアップしています!

(参考) 最近の主な更新記事

ツール	区分	記事内容
FB	事業関連	ネットの安全・安心けいはつコンクール審査会について
		県サイバーセキュリティ対策シンポジウムの開催告知
	ICT関連記事	NISCにおけるサイバーセキュリティ月間の取組(NISCサイト)
		“DDoS攻撃”について(ITproサイト)
HP会員 ページ	イベント告知	【NS対策協議会】「2/14県サイバーセキュリティ対策シンポジウム
		【佐賀電算センター】RESASセミナー開催告知
		【NetComさが】九州情報政策連携ジョイントシンポジウム開催
	会員における 取組・商品等 紹介	【ニシム電子工業】環境センシングシステムの紹介
		【九州コーユー】光触媒・ARアプリへの取組み紹介
		【シニアネット佐賀】団体のご紹介
YouTube	事業関係	第2回ICT利活用講演会「防災×ICT」

議題(1) 【報告:実施済】今年度下半期事業報告

【確認】HP等への会員お知らせ情報提供の方法

団体紹介、一押しの製品・サービス、イベント情報等を高情協HPにて広く周知したい！

【掲載依頼】(会員)

事務局へ以下の情報を提供する

お知らせタイトル 文字数制限なし お知らせ内容 文字数制限なし
公開日時 公開終了日時
画像 2メガバイト以内にサイズダウンしてください。(横長の写真がベスト)
動画 出来る限り10分以内の動画をお願いします。
高情協YouTubeにアップ致します。(宅ふぁいる便等で提供ください)

【更新案内】(事務局)
高情協Facebook
へアップ
「タイトルと3行案内
+ HPへのリンク貼付」

【確認】(広報G・事務局)
提供された情報のチェック

【動画掲載】(事務局)
高情協YouTube
へアップ

【情報掲載】(事務局)
提供された情報を編集して
HP会員ページにアップ

議題(1) 【報告:経過報告】今年度下半期事業報告

ICT利活用取組事例視察 (2月1日実施予定)

視察先について

[視察日時] 2月1日(水曜日) 13時~16時 [参加予定者] 17名

[視察先・内容]

長崎県立大学情報セキュリティ学科 サイバーセキュリティ演習室

◇「ながさきICT戦略(長崎県庁ハイブリッドクラウド他)」 次スライド参照

◇「長崎県立大学におけるサイバーセキュリティ研究」

扇精光ソリューションズ(株)システム開発部運用支援課

◇「長崎くんちナビの仕組みについて」

長崎県庁より、
視察内容追加提案

事務局にて、
視察先追加提案

取組事例パターン1) 『ICT利活用の推進を図ろうとする会員の参考とするための、
企業・官公庁が取り組まれている先進的ICT利活用事例』に該当

[視察で期待される効果]

産官学民それぞれの高情協会員にとって、
事業・研究活性化のヒントが得られると期待される

(参考資料) ながさきICT戦略の概要

平成28年3月
長崎県情報政策課

ながさきICT戦略（長崎県情報化推進計画）の概要

1 基本理念

○ICT（情報通信技術）を本県の様々な分野における諸課題に対して、積極的・重点的に利活用し、「人、産業、地域が輝く たくましい長崎県づくり」を推進する。
※前計画：「ながさきICT利活用指針」（H24～H27）

2 推進期間

○平成28年度から平成32年度まで（5年間）
※長崎県総合計画（H28～H32）の情報化施策に係る個別計画

3 目指すべき方向性

○基本理念を実現するため、目指すべき方向性として、4項目の「基本方針」を定め、各項目に関する施策を積極的に展開する。
〈基本方針〉
（1）利便性の高い電子行政の構築
（2）安全・安心に暮らせる地域社会の実現
（3）ICTの利活用による産業の活性化
（4）ICT社会を推進するための人材育成・基盤強化

4 戦略の構成・体系

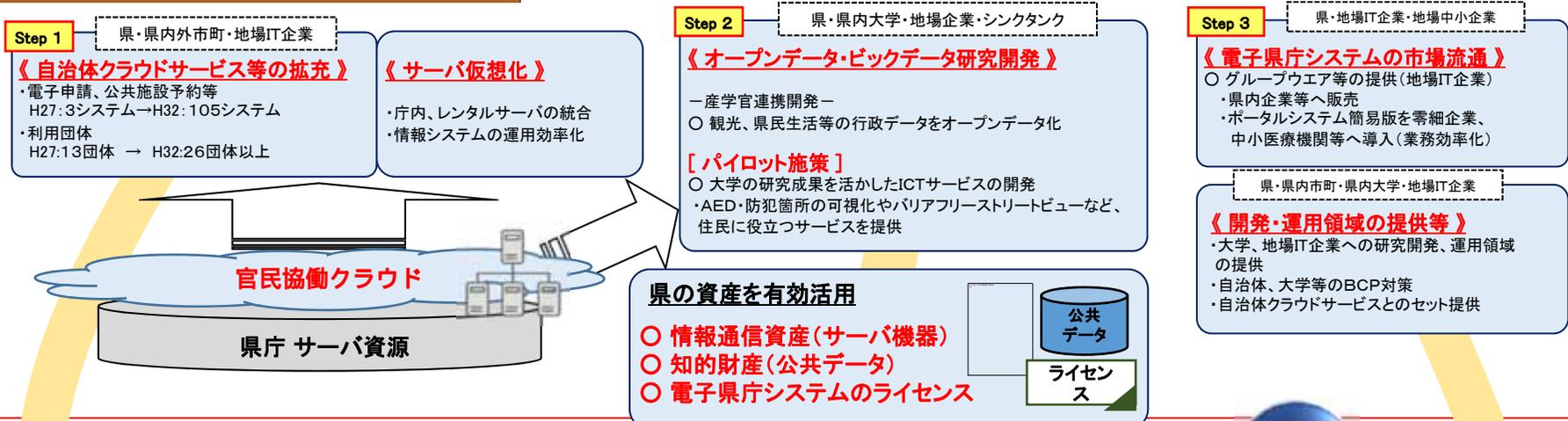
○基本方針に沿って、重点分野を定めるとともに、各分野における「戦略推進のための施策」を構築し、本戦略を構成。（次頁参照）

《戦略の体系図》

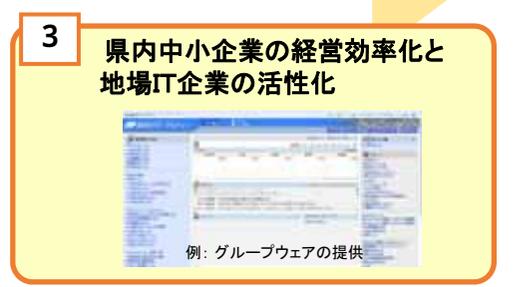
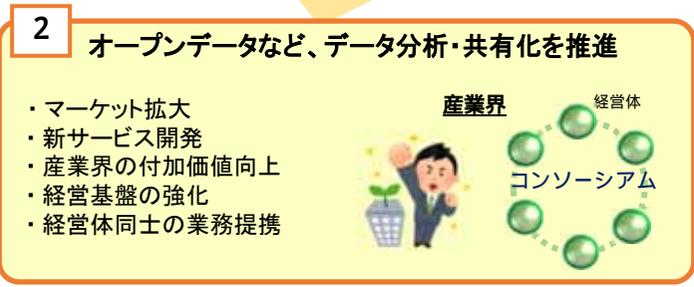
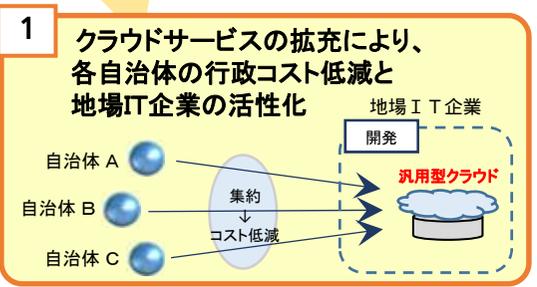
基本理念	基本方針	重点分野	戦略推進のための施策	
「人、産業、地域が輝く たくましい長崎県づくり」を推進する。ICTを様々な分野における諸課題に対して、積極的・重点的に利活用し、	I 利便性の高い電子行政の構築	1 クラウド環境	○ハイブリッドクラウド（官民協働・庁内）の構築	
		2 オープンデータ・ビッグデータ	○データカタログサイトの整備・利活用	
		3 電子行政サービス	○自治体クラウドサービス、マイナンバー ○県の業務プロセス改革	
	II 安全・安心に暮らせる地域社会の実現	1 医療・介護・健康		○医療情報ネットワークの機能強化 ○産産期・小児医療支援システムの構築 ○医療・介護・健診データを活用した健康づくり
			2 防災・減災	○防災情報システムの再整備
		3 子育て支援・見守り	○子育て情報プラットフォームの構築 ○データ放送などICTを活用した地域の見守り	
		4 防犯・バリアフリー	○オープンデータを活用した安全・安心対策	
		5 公共インフラ	○インフラの戦略的な維持管理 ○情報通信基盤整備	
	III ICTの利活用による産業の活性化	1 ICT関連分野等		○電子県庁システムライセンスの有効活用 ○新産業創出と参入支援 ○創業・起業支援と情報発信
			2 農林水産業	○複合環境制御型ICT農業等の推進 ○漁海況情報データを活用した漁業者の利便性向上
		3 情報発信・通信環境等	○観光情報、公衆無線LAN整備等	
		4 多様な働き方	○テレワークの推進	
	IV ICT社会を推進するための人材育成・基盤強化	1 ICT教育・人材育成	○長崎県立大学情報セキュリティ学科開設 ○県立高校等におけるICT教育の推進	
		2 情報セキュリティ基盤	○自治体情報セキュリティ強靱化 ○サイバー犯罪対策	

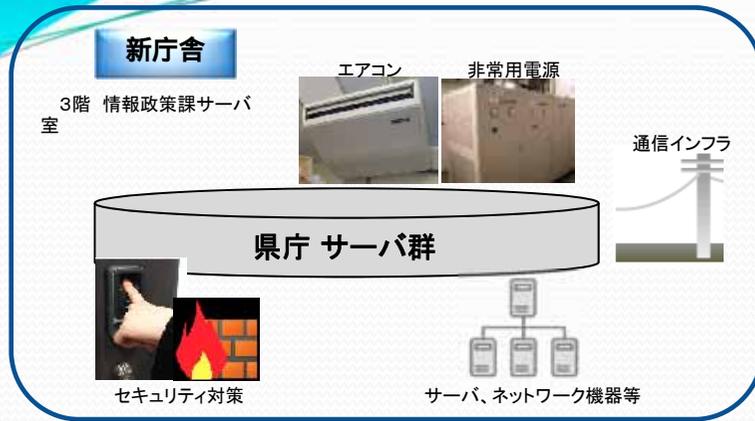
(参考)ながさきICT戦略の概念

ICT産業の振興 - 自治体クラウド等の推進 -



期待される効果





①と②の二つのクラウドを
県庁サーバ群で運用する
ハイブリッドクラウドを構築

- 自治体等が公共施設予約システム等の運用領域として利用(自治体クラウドサービス)
- 県内自治体等が「避難行動要支援者情報」のバックアップ領域として利用 など
- 自治体
- 庁内各課が保有する県民向けシステムや独自HPの統合
- プロジェクト管理(外部とのファイル交換、複数タスク(同時作業等)の庁内外進捗管理・共有)
- 複合環境制御ICT農業データ、漁海況情報データ等の運用基盤 など
- 庁内各課
- 行政コストの低減、住民サービスの向上、効果的・効率的な施策展開
- 地場IT企業が大学の研究成果やオープンデータでアプリを開発 (例) AED・防犯箇所の可視化、バリアフリーストリートビュー、観光アプリなど
- 地場IT企業
- 大学がビッグデータ分析等の実証実験領域として利用 (例) ロケ地情報解析、世界遺産観光客の動き解析・可視化など
- 大学
- 電子県庁ライセンスを活用したサービスの開発運用領域として利用 (例) グループウェア、休暇システムなど
- 上記のほか地場企業、大学等が研究・開発・運用・デモの領域として利用 → 新しいビジネスモデルの構築
- デジタル書庫 (例) 全職員向け・グループ向け等アクセス制御多様化、検索機能の充実 各課保有のハードディスクの統合など
- 情報の共有化、ペーパーレス化の推進
- 庁内システムの統合(外部接続のないもの) (例) 森林地理情報システム、用地総合システム、財政監査関係様式統一など
- 行政コスト低減、セキュリティ強化
- モバイルワーク (例) 現場職員(農林水産・土木等)からの迅速な現地報告・情報共有
- モバイルワークの推進

クラウド、オープンデータなどICTを活用した地場産業の振興

- ・マーケット拡大
- ・新サービス開発
- ・産業界の付加価値向上
- ・経営基盤の強化
- ・経営体同士の業務提携

<ながさきICT戦略研究会>

地場企業 銀行 シンクタンク 大学

(参考) 長崎県立大学サイバーセキュリティ演習室について

The screenshot shows the Nagasaki University website with a news article titled "情報システム学部情報セキュリティ学科セキュリティ演習室 (仮称) の完成見学会を開催しました". The article text states that the university has established a Cyber Security Lab, which is the first of its kind in the country. It mentions that the lab is equipped with various tools for learning and research, including network traffic visualization, virus defense, and attack/defense exercises. The article also notes that the university is currently using the lab for research and will continue to provide opportunities for students to use it.

2017年度
大学案内
パンフレットの閲覧ができます

clover
広域ネットクローバーの閲覧ができます

佐世保校のご案内
経済学部 / 地域創生学部 / 経済学部
資料など

シーボルト校のご案内
国際社会学部 / 情報システム学部
看護学部 / 国際情報学部 / 資料
人間健康科学研究センター

「情報セキュリティ学科」が
昨年4月に設置される
大学では全国初！

4月に運用開始予定の
「サイバーセキュリティ演習室」



通信パケットの可視化がなされ、
ウィルス対策や攻撃と防御の
演習等が実践できる

< 視察内容 >
情報セキュリティ業界権威の
加藤雅彦教授より
デモを交えて学内研究内容を
説明いただく

(参考) 長崎県立大学情報セキュリティ学科について



国内で初めての情報セキュリティ学科です

2016年4月、国内で初めて情報セキュリティを専門に学ぶ学科としてスタートしました！

企業インターンシップやセキュリティコンテストなどへの参加を推進します

CTF(Capture The Flag)をはじめとするセキュリティコンテストやセキュリティ・キャンプなどの人材育成を目的とするイベントに参加を目指したり、企業インターンシップに参加することで、皆さんの可能性を広げます。



2015セキュリティ・キャンプ全国大会の様子

社会が必要としている情報セキュリティの勉強ができます

国家試験である「ITパスポート試験」「情報セキュリティマネジメント試験」に合格するための講座を設けています。
企業や公的機関など多くの団体で、これらの資格の取得を推奨しています。

情報システム開発に関連するあらゆるシーンで 情報セキュリティの専門家が活躍しています

情報セキュリティ学科の特長・魅力

目指す
将来像

時代が求めるセキュリティのプロ!

セキュリティの専門技術を学ぶ
企業インターンシップ&演習

日本のセキュリティ技術をリードする**トレンドマイクロ、日本IBM**などの企業でインターンシップを行います。また、セキュリティ技術に関する多数の演習などで即戦力の人材を養成します。



知識が豊かな
セキュリティ技術者へ

インターネットバンキングの不正送金、個人情報情報の漏えい、オンライン詐欺などが近年多発しており、サイバー攻撃の手口は進化・巧妙化しています。一方、こうしたサイバー攻撃を防ぐ情報セキュリティ技術者の不足は深刻です。近年のめざましい情報化の進展の中で、**高度なセキュリティ技術を有する人材の育成**は時代の要請であり、喫緊の課題です。



学科の特色

IT技術に関する幅広い知識とともに、重要な情報を守るシステム構築の方法や情報管理の仕組みなど、情報セキュリティに関する知識・技術について深く学びます。情報セキュリティのプロとしての、高い専門性と実践力を身に付けます。

セキュリティ演習の設備を備えています

セキュリティ演習専用の設備を使って、安全かつ実践的な演習を行います。
攻撃方法や防御方法を実際の機器に触れながら学ぶことにより、より効果的な知識の習得が可能です。



※写真はイメージです。

2017年1月新セキュリティ演習室完成予定。



ネットワークセキュリティ

加藤 雅彦

安全安心なネットワーク社会を築くには皆さんの力が必要です！